



京都画廊連合会創立50周年、画廊連合会ニュース発刊600号によせて  
 京都府知事 **西脇隆俊**

京都画廊連合会創立50周年ならびに機関誌『京都画廊連合会ニュース』発刊600号の大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。  
 京都画廊連合会におかれましては、昭和50（1975）年に京都で活動する画廊の連携組織として創立されて以来、本誌の月刊発行をはじめ、『京都画廊ガイド』の発行や講演会の開催など、長きにわたり、京都府民への文化芸術の発信を続けてこられました。京都の画廊は、京都を活動の拠点とする作家にとってかけがえのない発表の場であります。京都が、いつでも身近にアートにふれられる街として今日ありますのも、皆様方が作家支援を通じて、文化芸術に親しむ方々の裾野を広げて来られたからこそと存じ、深く感謝申し上げます。

さて、間もなく、大阪・関西万博が開幕いたします。京都府といたしましても、京都府ならではの取組となるよう、万博会場はもとより、府内各地で様々な文化体験プログラム等を実施することで、世界に誇る京都の多様な文化を継承・発展してまいりたいと考えていますので、引き続き皆様の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。  
 結びに当たり、京都画廊連合会の今後のますますの御発展をお祈り申し上げます。

お陰様で京都画廊連合会は創立50周年を迎えました。  
 本号は京都画廊連合会ニュース発刊600号記念号です。～関連記事は、6頁～10頁に掲載しています～

〈若きポーランド〉  
 一色彩と魂の詩1890-1918

とき／3月25日(火)～6月29日(日) 10:00AM～6:00PM  
 ところ／京都国立近代美術館（月曜休館）  
 京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

ポーランドの国民的作曲家ショパンが、祖国を離れ最終的にパリで生涯を過ごすことになったのは、1830年にワルシャワでおこった十一月蜂起と、その失敗が遠因だった。1795年にポーランドは、国土をロシア、プロイセン、オーストリアに分割占領され、世界地図からその姿を消す。その後祖国の独立を求める蜂起や反乱が繰り返され、1918年の第一次世界大戦終結により戻った。この123年間、国を失った人々が自らのアイデンティティの拠り所としたのが、文学や音楽そして絵画などの芸術であり、言語や宗教を含む広義の文化だった。そしてその中心地として重要な役割を果たしたのが、古都クラクフである。19世紀後半、ポーランドの歴史や文化的逸話を大きなスケールで描き名声を博したのがヤン・マテイコ。クラクフ美術学校校長を務めた彼のもとからは、数多くの若き芸術家たちが巣立った。彼らは、祖国の独立を願いつつ、そこに自らの個人としての心情を結びつけ、象徴性に富み色彩豊かな独自の芸術を、絵画のみならず応用芸術や文学をも含む広い分野で展開した。〈若きポーランド〉と呼ばれた彼らは、印象派など当時西欧で新しく生まれた芸術の動向を貪欲に吸収し、浮世絵を主とする日本美術を参照する傍ら、地方に残る伝統文化を発見・再解釈しながら、ポーランドの国民芸術の在るべき姿を模索した。本展では、ヤン・マテイコを前史とし、〈若きポーランド〉が生み出した芸術を包括的に、日本で初めて紹介している。これこそ前世紀転換期に花開いたポーランド美術の真髄である。



ヴォイチェフ・ヴァイス 《ケシの花》  
 1902年 油彩／カンヴァス 個人蔵  
 （クラクフ国立博物館寄託）



ヤツェク・マルチェフスキ  
 《フェリクス・ヤシエンスキの肖像》  
 1903年 油彩／板  
 クラクフ国立博物館蔵



オルガ・ボズナンスカ  
 《菊を抱く少女》  
 1894年 油彩／厚紙  
 クラクフ国立博物館蔵

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1
		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	古写真と絵葉書で巡る京の名所																														
	3F	カナレットとヴェネツィアの輝き																								和食～日本の自然、人々の知恵～						
	4F																															
	5F	瓜生山墨の會「百花繚亂」其の式		2025 写人展				第51回 京都春季企画展										第49回日本画 春季光女展														
		in 第45回 京工回展 京都展 記念		第60回 青藍社				第33回 祐門会 京都能面展										第37回 面風會展 -能面・狂言-														
6F													音楽会																			
別館	音楽会		音楽会		KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2025 Dressing Up: Pushpamala N Mother India, Avega~The Passion and The Arrival of Vasco da Gama Presented by CHANEL Nexus Hall										4/15(月)、22(月)、5/7(水)は 休館のため閉室																	
京都学・歴史館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831											休館																		休館			

会場		日曜	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	5/1木
京都国立近代美術館	3F	〈若きポーランド〉-色彩と魂の詩うた 1890-1918																												→6/29			
左京区岡崎公園内 761-4111	4F	日本のオルガ・ボズナンカ 大正時代の日本画														2025年度 第1回コレクション展														彼女たちの戦後/音楽とともに 近代美術館の工芸コレクション		→6/29	
京都国立博物館	大阪・関西万博開催記念 特別展 日本、美のつば-異文化交流の軌跡-																												→6/15				
京都市 京セラ美術館	本館	モネ 睡蓮のとき																												→6/8			
		コレクションルーム春期 特集「染織をめぐる冒険-京都の作家を中心に」														→6/15																	
	東山 キューブ	第4回 PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ 2025														→5/11																	
		松本市美術館所蔵 草間彌生 版画の世界 -反復と増殖-														→9/7																	
		別館1F	第66回 京都写真連盟写真展				KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2025																				→5/11						
別館2F	公募第4回 大潮友彩展																																
京都府立 文化芸術会館	1F					第56回新協京都展				自由美術京都作家展				第40回 染翫会展				→5/4															
河原町府立病院前 222-1046	2F					第3回セルクル・ オープン展 (洋画)				念々会 書展				第57回墨人 関西展 (書)				→5/4															
3F																																	
京都府立堂本印象美術館	展示替えのため休館																												→6/1				
北区平野上柳町26 463-0007	特別企画展「伊藤深水 時代の美、つややかに」 併催 (没後50年記念) 堂本印象が描く女性 (会場: 京都府立堂本印象美術館 新館) 野外イベント 第8回野外彫刻展 (会場: 庭園)																																
何必館・京都現代美術館	東山区祇園町北側 525-1311																																
高島屋	画廊	継承記念京焼 竹泉窯 七世 三浦 竹泉展				第54回日本伝統工芸 近畿展 開催記念 わざの美・現在展				院展俊英作家小品展				坂田 源平 「アニマルパーク」展				タカマツ実人美術展 2025 「シラビヨウ」展 美の系譜				→5/5											
		原 菜央 陶展 -ここであったが百年目-				日本工芸会近畿支部 所属作家によるSAKEの器展				-Dreaming cat 猫の夢- 鍵谷雅美 陶展				野津 果音 漆展 そこに在り、静かに動く				村田晃陽 陶展				→5/5											
	美術工芸 サロン																																
大丸	画廊	藤井誠展 ~旅の途中~				ディズニーアート コレクションフェア				多摩美術大学出身作家 日本画3人展				中埜暢人・朗子 木工・截金展				足田正章 油彩画展				→5/6											
中京区四條高倉 050-1790-3000	アート サロン	渡辺美香子 絵画展 ~空想風景にここ遊ばせ~				竹村健の世界				望月知沙子・山崎有美 二人展-いつくしみ-				作品集出版記念 藤尾勝治郎展				石野 まゆ展				→5/6											
ミュージアム																																	
中信美術館	京都中央信用金庫創立85周年記念所蔵品展 ~職員が選ぶ「私の推し!」~ (月曜休館)																												→5/16				
上京区下立売池小路東入 417-2323																																	
並河靖之七宝記念館	冬期休館				月曜・木曜休館																												
三条通北裏白川筋東 752-3277																																	
泉屋博古館	改修工事のため、2025年春まで休館いたします。																												→6/8				
左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411	リニューアル記念名品展1 贈ってきた泉屋博古館 いにしえの空室たち ブロンズギャラリー 中国青銅器の時代																												→8/17				
芦屋画廊 KYOTO	常設展																																
左京区 頭町 357-8 754-8556																																	
アートギャラリー 博宝堂	ピエール・ネグリー 日本初の個展				常設展														ダニエル・ケリー展 (月曜休廊) ~ MONKEYING AROUND ~										→5/4				
左京区岡崎神宮道東側 771-9401																																	
アートギャラリー 騰休堂	常設展 (貸ギャラリー受付中)																																
東山区東山五条上ル西入ル 541-3805																																	
アートスペース 柚 (ゆう)	小豆島美知個展 ~見えないものは居る~				小木曾久代展 (月曜休廊) わたしの想う祇園さん				京都市立芸術大学 工学科10人展 みちくさとことこ -陶磁器 漆工・染織展																								
東山区二条通東山西入 090-6916-5353																																	
アートスポット 櫻奏	常設展 (火曜11:00~13:00、木曜11:30~13:00) ※他の日は予約制																																
東山区八坂通大和大道東入南入 090-3945-7492																																	
Art Space 癒心庵	「浮世絵展」毎週火・金曜日 (祝日は休館・完全予約制) 時間【10:00~16:00】午前・午後 各一組4名まで 予約の受付時間【9:00~15:30】																												→5/13				
長岡京市今里畔町24-8 951-2788																																	
綾小路ギャラリー 武	奥村京華作品展				山田竜己作品展				展示会予定																								
下京区綾小路高倉東入ル 351-4787																																	
芸艸堂画廊	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																
中京区寺町二条下ル 231-3613																																	

企: 企画および常設を中心に活動する画廊 貸: 貸画廊

〔今月の展覧会より〕

## 有名洋画家たちによる一春夏秋冬一美の遺産 「とっておきの日本風景」

と き／3月29日(土)～4月26日(土) 10:30AM～6:00PM  
ところ／星野画廊 (毎週月曜と4/6(日)、4/20(日)は休廊)  
京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

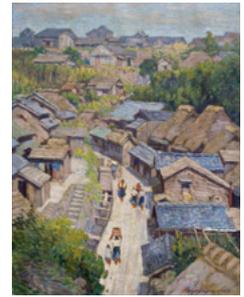
阪神淡路大震災から30年、東日本大震災の巨大津波から14年。南海大地震や地球温暖化による異常気象。様々心配事はあるにしても、日本には固有の美しい風景が存在し、自然との共存を願う人間が明日への希望を失うことなく暮らしている。過去幾多の名画家たちは、独自の視線と技法により日本の風景美を見事に描き留めてきた。名作揃いの癒し空間となる本展をご高覧頂ければ幸いである。

朝焼けの富士を背景に水蒸気が立ち昇る芦ノ湖の感動的な一瞬を描いた中澤弘光。故郷阿蘇の大観峰の光景を壮大なスケールで描いた間部時雄。吉田山の神麓、雪の夜景を情感豊かに描いた真如堂の画僧・斎藤真成。湖国蒲生の夕照を大胆な筆致で捉えた野口謙蔵。大正期国画創作協会の画家たちが好んで描いた波切を俯瞰的に描いた河合新蔵は、海浜松原の真夏の光景や湿潤な山里風景にも見事な画技を發揮。奈良公園の秋、巨木の根元に視線を集約することで古都の長い時間の推移を示唆する和田英作。

黒田清輝の失われた代表作《昔語り》で、歌枕にも読まれた聖地への路を緑の豊かな階調で描いた鹿子木孟郎。浅井忠ら関西美術院の洋画家たちが好んで描いた京洛八瀬。その名所の錦秋風景を見事に描切った神官画家・伊藤快彦。平安神宮の紅枝垂を愛情深く描いた黒田重太郎。点描筆法で故郷の春秋風景を執拗に描いた有道佐一。四国の名峰石鎚山に向かう深山の紅葉を清々しく描いた高橋虎之助。東北金華山の晩秋を描いた鶴田吾郎。南国紀州海岸の燈台光景を独自の動画的な情感で描いた藤田龍児。シュルレアリスト北脇昇が描いた柿の木はやはりシュールな骨格。挙げればキリがない見所満載の名作ぞろいの展覧である。



鹿子木孟郎「加茂川の上流」  
昭和初期頃  
油彩12号P



河合新蔵「漁村(波切)」  
1916(大正5)年  
油彩25号P



黒田重太郎「平安春色」  
1939(昭和14)年  
油彩10号F



野口謙蔵「蒲生野の夕照」  
1941(昭和16)年頃  
油彩SM



中澤弘光「箱根芦ノ湖の朝」  
1935(昭和10)年  
油彩30F



藤田龍児「灯台へ登る道」  
1990(平成2)年  
油彩10号F

## 日本画三人展 長谷川喜久・林真・福本百恵 —株式会社たづアート 50周年記念—

と き／4月1日(火)～6日(日) 10:00AM～5:00PM  
ところ／画廊たづ (たづアート本社)  
京都市東山区三条通神宮道西入 ☎075-771-8225

この度株式会社たづアート設立50年となる偉業達成の期に私達の展覧会を周年記念事業として選定していただいたこと心より嬉しく光栄に思います。30代の頃から多くの展覧の場で作品発表の機会を頂戴し色々な経験をさせていただきました。このことは自身の画業にとって大切な歩みであったと実感しています。

長いお付き合いの中 私が教鞭を取る大学の卒業生から林真さん福本百恵さんという作品にきちんとした制作動機がありかつ豊かな個性のある作家が生まれてきました。今展は私を含む三人で新作を発表いたします。今心中にある自身のリアルを描いた作品ばかりです。何卒よろしく願いたします。長谷川喜久



長谷川喜久「colors-g-sw」  
20号



林真「芙蓉」  
20号

この度、たづアート本社におきまして「日本画三人展」を開催させていただきます。20年以上前に初めて長谷川喜久先生と京都でお会いさせていただきました。そのご縁で林真先生と福本百恵先生をご紹介させていただきました。弊社は今年で設立50周年を迎えます。その筋目の年に先生方のご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。今展では先生方の美の饗宴をご高覧くださいます様お願い申し上げます。代表取締役 森井 毅



福本百恵「馨香赤緋」(けいこうせきひ)  
20号

谷口淳一 彫刻展 ―Story― まほろばへの帰

と き／4月1日(火)～4月6日(日)

ところ／ギャラリーヒルゲート 京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

私は主に人物をモチーフとして具象彫刻を制作していません。

今回の個展では自分の記憶の中の情景を造形化し、土の温もりを感じるテラコッタの人物を存在させて物語性のある作品を制作してみました。何を語ろうとしているのかを想像して頂ければ嬉しく思います。 谷口淳一

谷口 淳一 Jun'ichi Taniguchi

- 1977 金沢美術工芸大学彫刻科卒業
- 1979 筑波大学大学院芸術研究科修士課程修了
- 1991 日展特選受賞 (1993年同受賞)
- 1992 文化庁現代美術選抜展出品
- 1993 京展受賞
- 1996 「日本画家橋本明治像」制作 (鳥根県浜田市設置)
- 1998 「出会う時」制作 (JR山科駅前設置)
- 2000 「青春感謝像」制作 (JR岡山駅前設置)
- 「時空を超えて」制作 (京都市役所前広場設置)
- 2002 日展審査員 (以後4回)
- 2003 「沢村栄治像」制作 (京都先端科学大学附属高等学校設置)
- 2007 「未来みつめて」制作 (こどもみらい館前竹間公園設置)
- 2009 第91回全国高校野球選手権大会優勝メダル制作 (92回、93回)
- 2020 日展において東京都知事賞受賞
- 2022 「衣笠祥雄像」制作 (西京極運動公園・わかさスタジアム前設置)
- 現在 日展特別会員・京都教育大学名誉教授



「永遠一空」  
100×80×60cm

坂爪厚生 銅版画(メジント)展―デジタル化社会の流れに對峙して

と き／4月22日(火)～4月27日(日) (1F・2F)

銅版画の制作を始めてから今日まで、自分を取り巻く状況をテーマにして作品を制作して来ました。

今回は「デジタル化社会の流れに對峙して」として、1981～1984年ジグソーパズルシリーズ、2007～2014年情報ネットシリーズ、2018～2025年反デジタル絵・不確定性シリーズを展示します。

物質が素粒子まで分解され、デジタル化された大量の情報があふれている現代社会。「事実」か「フェイク」か、「ある」のか「ない」のか、実にあやふやで不安な気分させられます。

このような状況をふまえて、これまでの仕事を振り返ってみようと思っています。 坂爪厚生

坂爪 厚生 Atsuo Sakazume

- 1941 群馬県沼田市生まれ 1965 京都大学工学部卒業
- 1966 ギャラリー16にて平面作品を、'67年半立体作品発表
- 1968 銅版画の制作、発表を始める
- 1973 日本版画協会 会友賞 今日作家'73展 (横浜市民ギャラリー)
- 1974 第5回版画グランプリ展 グランプリ (71、73賞候補)
- 第2回ニューハンプシャー国際版画展 審査委員賞
- 1975 京展 須田賞 ('82京展賞) 京都洋画版画選抜展買上賞 (同'80)
- 1976 アート・ナウ77 (兵庫県立近代美術館)
- 1983 第2回バルナ国際版画ビエンナーレ展 作品買上 (ブルガリア)
- 1987 現代版画87 (松涛美術館)
- 1988 「白のフォークロアVI」文化庁買上げ
- 1995 京都の美術「昨日、今日、明日16」  
一坂爪厚生・深見陶治展 (京都市美術館)
- 1997 クラクフ国際版画トリエンナーレ  
作品買上賞
- 2005 文化庁海外特別派遣でオランダにて研修、  
ユトレヒトGAUにて作品展
- 2009 クラクフ国際版画トリエンナーレ (同'11)  
浜口陽三生誕100年記念銅版画大賞展 入賞  
現代日本版画展  
(ドブプロブニク美術館/クロアチア)  
第7回スプリット国際版画展  
(クロアチア) (同'17)
- 2015
- 現在、日本版画協会会員



「風解するジョコンダ」  
49.5×35.5cm  
1983年

「めぐりめぐる絵画 ― 齊藤彩個展」

〈2023-24年新作より〉

と き／4月11日(金)～27日(日) 1:00PM～6:00PM

ところ／ギャラリー宮脇 (月曜休廊)  
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

いつも絵を描いておらずにはいられない齊藤彩は、描くことで生のリズムを刻む画家。丈135cmのロール状の画用紙を適当な幅にカットし主に油彩でいつも掌や指を使って、あらかじめ完成図を構想することなくひたすら気分の赴くままに題名のない絵を描き上げる。震えるような繊細さと衝動的で大胆なタッチが共存する齊藤彩の創造は、言葉が生まれる以前の始原のイメージを映し出す。そのあまりにも本能的な創造によって、そこには野生の「絵画」が生々しく立ち上がっている。

齊藤彩 (さいとうあや) 1981年生まれ。03年女子美術大学洋画専攻卒業。04年GEISAI 5 奈良美智賞。15年独ライブチビで滞在制作発表。横浜市民ギャラリーあざみ野で自主回顧展。21年女子美術大学ギャラリーニケ齊藤彩展。ART OSAKA 2021ギャラリー宮脇ブース個展。22年京都場での個展がNHKアートシーンで紹介される。横浜市在住。



記念イベント情報★

公開対談〈齊藤彩 繰り返される「タブラ・ラサ」〉 & レセプション

4月12日(土) 午後3時半～(予約制)

登壇者：水沢勉 (美術史家・美術評論家) 仲野泰生 (京都場館長・元川崎市岡本太郎美術館学芸員) 齊藤彩という底知れぬ創作力を秘めた画家の秘密を探る。対談後は作者を囲みささやかな懇親会を催します。

【要申込・定員30名先着順・参加費1000円】氏名・連絡先・参加人数をお知らせください。必ず確認の返信を致します。

☎075-231-2321 (留守電対応あり) E-mail info@galerie-miyawaki.com



「日本画 明日への扉」展 株式会社たづアート 50周年記念  
出品作家・千住博、上野瑞香、川上椰乃子、林銘君（敬称略）

と き／4月14日(月)～5月3日(土) 10：00AM～5：00PM  
と ころ／画廊たづ（4/29(祝)と5/3(祝)以外の土・日休廊）  
京都市東山区三条通神宮道三条西入 ☎075-771-8225

この度、たづアート本社におきまして「日本画 明日への扉」展を開催させていただきます。今展では、千住博先生に展覧会名を命名していただきまして、若き才能のある三名の出品者を選んで下さいました。千住先生と若き作家の共演でございます。千住先生は国内外で多くの発表をされております。国内では個展をはじめ大徳寺聚光院や高野山金剛峯寺など古刹の襖絵を制作され、海外ではニューヨーク、シカゴ、ロンドン、シンガポールなど世界中で発表をされております。最近ではシカゴ美術館での「Senju's Waterfall for Chicago」で六曲一双の屏風に描かれた滝を発表されました。日本画を国際性のある芸術として世界に認知させ、令和4年には日本芸術院会員に任命され、我が国を代表する芸術家としての評価を確立されました。ぜひこの機会に千住先生と明日の扉を開く三名の発表をご高覧下さいませようお願い申し上げます。

代表取締役 森井 毅



千住 博  
「ウォーターフォール・オン・カラース」30号



川上椰乃子「組」30号



上野瑞香「鬱金香」30号



林銘君「鶯標」30号

往復芸術 野村幸弘と佐倉密

と き／4月1日(火)～4月12日(土) 12：00～6：00PM  
と ころ／ギャラリー16（月曜休廊）  
京都市東山区三条通白川橋上ル石泉院町394 ☎075-751-9238

この展覧会は、絵画や映像作品などを制作する美術史家の野村幸弘と、詩人で現代美術家の佐倉密による二人展です。展覧会名の「往復 芸術—Correspondent Art」は、往復書簡という言葉に着想を得た野村の造語で、コラホボレーションなどとは異なる二人の作家の関係性を意味しており、〈作る〉に加え〈交換・所有〉することで初めて成立するものの見方を示しています。一人ひとりの作品と、二人の間から生まれた作品の両方をお楽しみください。

野村幸弘

1961年生まれ。東北大学大学院、シエナ大学でイタリア美術史を学ぶ。

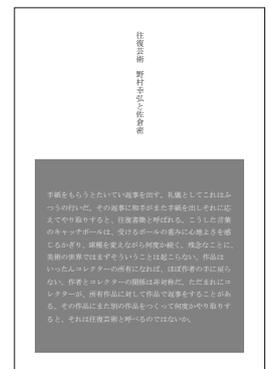
1994年アーティスト集団「幻想工房」を結成、「場所」をキーワードに「幻聴音楽会」の企画・演出、芸術評論、絵画、デザイン、オブジェ制作など多岐にわたる活動を展開。2011年より美術史研究と映像表現を融合させた「映像美術史」シリーズを制作。

佐倉 密

1967年生まれ。現代美術家、詩人、現代美術コレクター。同世代である村上隆や会田誠をはじめ、日本の90年代アートを中心に蒐集。2003年、宇宙をテーマに詩的オブジェの制作を開始。以後、言葉と美術の融合を試みた美術作品を発表。さくらみつ名義で雑誌に連載した詩作品の一部をまとめ、2019年、詩画集（写真集）を限定発行。



galerie 16



# 京都画廊連合会ニュース創刊600号記念特集！



## 発行に際して

この会が発行する『京都画廊連合会』は、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## 目次

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## アートマーケット

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## 神楽通

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## 車やけり宮脇

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## アザヒ画廊

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

1) 創刊号 (1975=昭和50年4月) 号表紙

画廊名	展覧会名	開催期間	会場	主催
京都府画廊連合会	京都府画廊連合会創立記念展	4月1日-4月30日	京都府庁	京都府画廊連合会
...	...	...	...	...

画廊名	展覧会名	開催期間	会場	主催
...	...	...	...	...

2) 創刊号 (1975=昭和50年4月) 号の2 & 3頁

画廊名	展覧会名	開催期間	会場	主催
京都府画廊連合会	京都府画廊連合会創立記念展	4月1日-4月30日	京都府庁	京都府画廊連合会
...	...	...	...	...

3) 創刊号 (1975=昭和50年4月) 号の4頁



## 発行に際して

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## 目次

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## 京都画廊連合会ニュース

KYOTO GARO RENGOKAI NEWS

1978 3月号

### 人賞者決まる！ 一般入場者の人気投票で……

第3回画廊フェスティバル「京都画廊連合会選抜作家展」後援・京都府

第3回画廊フェスティバルの開催が、2月21日(土)から5日(日)までの5日間、京都市中心部にある、大規模な会場で開催されました。当日は多くの観客が訪れ、大規模な人気投票を行いました。結果、一般入場者の人気投票で、選抜作家が決定しました。

画廊名	作家名	参加作品
...	...	...



## 発行に際して

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

## 目次

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

この号は『京都画廊連合会』の創刊号として、京都府の画廊界の発展と、117館に京都府画廊連合会が加盟している画廊の発展を目的といたしまして、4月号から発行して『京都画廊連合会』と改題し、その月の画廊界の主要な動向を特集するものとする。

4) 第11号 (1976=昭和51年) 2月号 第1回画廊フェスティバル特集号

5) 第36号 (1978=昭和53年) 3月号 第3回画廊フェスティバル「京都画廊連合会選抜作家展」特集号

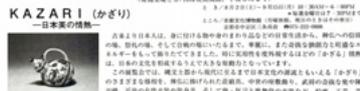
6) 1周年記念号 (1977=昭和52年) 1月号 京都府知事・蛸川虎三氏の祝辞掲載



〔京都画廊連合会ニュースに見る京都画廊連合会小史〕



2008 8月号  
**没後10年 下村良之介展**  
 [日本画] 真考の序章



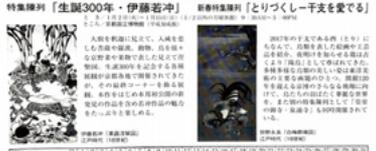
10月号  
**KAZARI (かざり)**  
 伝統美の情懷

品名	価格	数量	備考
京都府知事賞	10000	1	賞状
...	...	...	...

13) 第400号 (2008=平成20年) 8月号

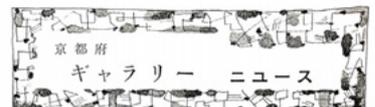


2017 1月号  
**京都画廊連合会ニュース発刊第501号**によせて  
 京都府知事 山田啓二氏を  
 祝賀して祝詞のごときです



品名	価格	数量	備考
...	...	...	...

14) 第501号 (2017=平成29年) 1月号  
 京都府知事・山田啓二氏の祝辞



1961. 10.  
 4月号  
**ごあいさつ**  
 京都市長 嵯峨 三郎

第1号発行に寄せて  
**序言**  
 京都府の文化は、その歴史をたどるにつれて、今日まで重要な役割を果して来た。その歴史をたどるにつれて、今日まで重要な役割を果して来た。その歴史をたどるにつれて、今日まで重要な役割を果して来た。

品名	価格	数量	備考
...	...	...	...

15) 京都府ギャラリーニュース第1号 (1961=昭和36年10月)



16) 京都画廊フェスティバル (1999=平成11年11月)  
 京都スタンプラリー-広報紙 (表面)



17) 京都画廊フェスティバル (1999=平成11年11月)  
 京都スタンプラリー-広報紙 (裏面) 地図



18) 京都画廊フェスティバル (2000=平成12年10月)  
 京都スタンプラリー-広報紙 (表面)



19) 京都画廊フェスティバル (2000=平成12年10月)  
 京都スタンプラリー-広報紙 (裏面) 地図

## 〔京都画廊ガイドの発行〕

●京都画廊連合会では画廊連合会ニュースの発刊と並行して、様々な美術啓蒙活動を続けています。その代表的なものが『京都画廊ガイド』の出版（いずれも編集は星野桂三が担当）でした。

初版：1984（昭和59）年11月	特B5判20頁	頒価200円	表紙絵 表紙題字：石川九楊
改定第2版：1987（昭和62）年	特B5判48頁	頒価300円	表紙絵：木村秀樹《冬のライオン》 表紙題字：石川九楊
改定第3版：1990（平成2）年4月	特5判50頁	頒価300円	表紙絵：三浦景生《キャベツ島の虹》 第11回新工芸展 表紙題字：石川九楊
改定第4版：1992（平成4）年10月	特5判54頁	頒価400円	表紙絵：中野弘彦《晩年の定家》 表紙題字：石川九楊
改定第5版：1996（平成8）年10月	特5判54頁	頒価500円	表紙絵：中野庸二《Outdoor⇔inside》の部分 表紙題字：石川九楊
改定第6版：1996（平成8）年12月	5判54頁	頒価600円	表紙絵：中野庸二《Outdoor⇔inside》の部分と 岡本神草《拳を打てる舞妓》
改定第7版：2005（平成17）年3月	特5判56頁	頒価800円	表紙絵：伊佐利彦《松林月照》（2001年染清流展） 裏表紙絵：岡本神草 《拳を打てる舞妓の三人の舞妓の習作》 （1918年 第1回国画創作協会展） 表紙題字：石川九楊

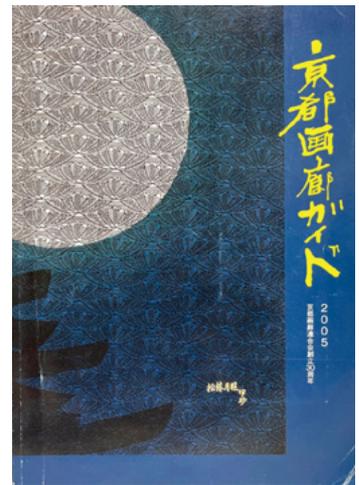
●以後はインターネットの発達もあり、京都画廊連合会のホームページを拡充することで画廊ガイドの代替えています。初版刊行時には新聞記事（全国紙）で紹介されたこともあり、北海道から沖縄まで全国的美術愛好家と美術家からガイドを求める注文が殺到しました。一時はその発送作業に追いまわられて、肝心の画廊運営の障害となったことも懐かしく思い起こされます（星野）。



1) 改定第3版表紙：1992（平成4）年10月



2) 改定第5版表紙：1996（平成8）年10月



3) 改定第7版表紙：2005（平成17）年3月



4) 「画廊ガイドを発行、会員86画廊を紹介」（1996年11月23日 毎日新聞）



5) 「4年ぶり改訂、第6版京都画廊ガイドを発行」（2000年12月21日 朝日新聞）



6) 「創立30周年を記念する『京都画廊ガイド2005』の創刊」（2005年4月30日 京都新聞）

〔京都画廊連合会の様々な活動状況〕

# 第8回画廊フェスティバル選抜作家展

1983=昭和58年2月1日(火)～2月6日(日)

当時の記念写真(於京都府ギャラリー)があります。当時お世話になった府ギャラリー所長の八重氏(右端)をはじめ、京都新聞美術記者津田氏や読売新聞の高橋記者を混じえて、参加画廊と出品作家たちが集いました。今から思えば賑やかな時代でした。



**選抜作家展**  
2月1日(火)～6日(日)  
AM10:00～PM6:00

京都府ギャラリー  
(千本通今出川角)  
京都西陣区3F  
TEL. 463-9433  
主催 京都画廊連合会  
後援 京都府

オリジナル作品進呈

第8回画廊フェスティバル参加  
画廊自主企画展のご案内

画廊 紅花堂	「写真で見ると料紙」	2/1(火)～2/6(日)
画廊 ヒーナス	「川端康成作品展」	2/1(火)～2/6(日)
ギャラリー 成安	「杉野寿子(紙による平面作品)展」	2/15(水)～2/20(日)
ギャラリー 観	「レイ・ホワイカ(ペーパーワーク)展」	2/18(土)～3/2(日)
ギャラリー 宣	「フランス在住作家4人による作品展」	2/1(火)～2/6(日)
	①久道正隆展	2/1(火)～2/13(日)
	②ジャン・ピエール・ヌルージュ展	2/8(水)～2/13(日)
	③神谷孝展	2/15(水)～2/20(日)
	④酒井政明展	2/1(火)～2/7(日)
ギャラリー 宣	「門脇正弘・西山貞徳2人展」	2/14(月)～2/20(日)
	「ゴッロウ(写真彫刻)展」	2/19(土)～2/22(火)
星野 画廊	「オニエール・ケイロニオ展」	2/19(土)～2/22(火)
梅 村 画廊	「昭和57年度 日展日本画受賞作家展」	2/22(火)～2/29(日)

## 京都文化博物館 開館30周年記念の一環として 京都画廊連合会シンポジウム①

### 「文化庁は京都に何を求め、京都は文化庁に何を求めるのか」を開催しました。

2018(平成30)年10月3日夜、京都文化博物館旧館ホール

文化庁から地域文化創世本部事務局長・松坂浩史氏、京都府文化芸術課長・森木隆浩氏、京都市美術館長・潮江宏三氏、美術評論家・太田垣實氏、京都造形芸術大学教授・川村悦子氏、そして当会から星野桂三。コーディネーター 山中英之氏(京都新聞論説委員)の司会により様々な議論が交わされ、溢れんばかりの聴衆の参加を得たシンポジウムは大成功に終わりました。

(◎職席はいずれも当時)

京都文化博物館 開館30周年記念  
京都画廊連合会シンポジウム

文化庁は京都に何を求め、  
京都は文化庁に何を求めるのか？

THE MUSEUM OF KYOTO 30th Anniversary

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF SYMPOSIUM 2018

平城30年  
10月3日(水) 6:30～8:30pm

◎ 京都文化博物館 別館ホール(京都市東山区)  
◎ 京都府立総合文化センター 大ホール  
◎ 京都府立総合文化センター 大ホール  
◎ 京都市立芸術大学 大ホール  
◎ 京都市立芸術大学 大ホール  
◎ 京都市立芸術大学 大ホール  
◎ 京都市立芸術大学 大ホール

2023年 12月9日(土) 12:00～14:00 会場 11:30

京都画廊連合会 特別企画

キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室  
定員120名、当日先着順、入場無料

シンポジウム

文化庁・京都市立芸大 移転記念シンポジウム  
— 芸術を育む街 京都に —

講演

12:00 今泉 柔剛 (文化庁審議官)  
「文化庁の京都移転と今後の文化政策について」

12:15 赤松 玉女 (京都市立芸術大学 学長 / 画廊)  
「京都市立芸術大学 143年目の新キャンパス」

パネルディスカッション 一芸術を育む街、京都に—

12:50 赤松 玉女 (京都市立芸術大学 学長 / 画廊)

13:00 今泉 柔剛 (文化庁審議官)

13:15 川崎 洋 (日本画家 / 画廊) / 京都府立芸術大学 学長

13:30 森口 邦彦 (造形芸術 / 文化庁審議官)

13:45 山本 麻友美 (京都市立芸術大学 学長 / 画廊)

司会 山中 英之 (京都新聞論説委員)

13:50 辻 真代治 (フランス文学者 / 京都市立芸術大学 学長)

京都府立芸術大学 新キャンパス見学会

14:20 新しくなった京大のキャンパスを職員の方々の案内で見学します。  
キャンパスプラザ京都で12:00～14:00まで見学会開催。  
シンポジウム会場は、新キャンパスのすぐそばにあり、徒歩10分圏内です。

(キャンパスプラザ京都・京都市立芸術大学 新キャンパスへのアクセス)

会場案内図

12月9日(土) 12:00～14:00 会場 11:30

キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室

12月9日(土) 12:00～14:00 会場 11:30

キャンパスプラザ京都 4階 第3講義室



会場スナップ (シンポジウム①)



登壇者の方々 (シンポジウム①)

## 京都画廊連合会シンポジウム② 文化庁・京都市立芸大移転記念シンポジウム

### — 芸術を育む街・京都に —

2023(令和6)年12月9日(土)、キャンパスプラザ京都

		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1															
会場		火		水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木													
企	絵草子	浮世絵・木版画・新版画常設																																															
企	延寿堂ギャラリーソフォラ	中川夕花里展 (磁器)												岩崎龍二展 (半磁器)												→5/6																							
企	御池画廊	洋画・日本画常設展 (土・日・祝休廊)																																															
企	画廊たづ	日本画三人展 長谷川喜久・林真・福本百恵						日本画常設展 (土日祝休廊)						日本画 明日への扉展 (4/29と5/3以外の土日祝休廊)														→5/3																					
貸	ぎおんギャラリー八坂	「たけの世界展」 原画・ポストカード・色紙・小冊子他 表現画房 河村武明						水墨画・石仏の観音 墨彩画展 黒岩豊隆						銅版画・イラスト展 木村友美 にゃんころりず						手づくり工房 クラフト作品 浪漫堂 谷内恵美						染め彩々 (手描ローケツ染) 藍染展 越智由利						→5/4																	
貸	喜聞堂アートスペース余花庵	郷 加奈子 手刺繍画展 「手刺繍で描く若沖と広重」						本家鍋島織通展						MASAKI KAMIYA 透明な美しい景色 ガラス作品展						池端邦輔 油彩画展						宇野孝之 洋画展						→5/4																	
貸	ギャラリーM	「べらぼう」に寄せて 桜と鳥原の花魁・舞妓を描く展 (松本祐佳)																																															
貸	ギャラリー花友じゅらくだい	ロシア・ウクライナ出身画家作品展 (貸画廊受付中)																																															
貸	ギャラリー祇園小舎	一佑会 能面・能彫展						第37回 染めと織 in 紙画						ボタニカルアート 教室展						絵画と工芸三人展						中浜絵巻の 墨絵展						→5/4																	
貸	ギャラリー吉象堂	第4回 島津画友展						第26回宮本 絵画教室作品展																																									
貸	ギャラリー Create洛	近藤慧子個展 (洋画)						矢野信司個展 (洋画)						1F 荒瀬隆三「静謐な世界」 2F 金子善明「言葉の知解と脅威」 齋藤真成「対話」						阪東佳代個展 (洋画)						島田理恵展 (日本画) 黒住拓展 -夢の夢-						→5/4																	
貸	ギャラリー恵風	翟建群・中村七海 日本画展						休廊						小林敬生 木口木版画展 (月曜休廊) 武蔵篤彦展 (平面) (月曜休廊)						恵風 春の版まつり展 (月曜休廊)						→5/4																							
貸	ギャラリー胡々湾	池見悠日本画						日本画・絵付 デザイン書道展						刻の風 日本画3人展																																			
		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1															
会場		火		水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	月	火	水	木													
貸	ギャラリー佐野	往復芸術-野村幸弘と佐倉蜜 (月曜休廊)												櫻井類 個展 (月曜休廊) 「変わりゆくさまをずっと見せてよ」												「シロコリアイブ の末裔たち」 三宅幸介個展 (写真)						→5/10																	
貸	ギャラリーSpace妙	貸ギャラリー受付中												高橋美佳展 (木曜休廊)																																			
企	ギャラリー創	日本画・洋画・古書画常設展																																															
企	ギャラリー鉄齋堂	常設展																																															
貸	ギャラリー富小路	貸ギャラリー受付中																																															
企	ギャラリーなかむら	Breeze (絵画グループ展) (月曜休廊)																																															
企	ギャラリー白梅園	白崎信子ガラス作品常設展																																															

### 【他所で見たい展覧会】

- 「松本竣介 街と人-冴えた視線で描く-」展：1月4日(土)～4月6日(日) アサヒグループ大崎山崎山荘美術館 (京都府乙訓郡大崎町銭原5-3 ☎075-957-3123)
- 「中山魁美と風景画の旅、日本から世界へ」展：2月1日(土)～4月13日(日) 福田美術館 (京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16 ☎075-863-0606)
- 「中村征夫写真展 海中顔面大博覧会」：4月19日(土)～5月25日(日) 美術館「えき」KYOTO (京都駅ビル、JR京都伊勢丹7回隣接 ☎075-352-1111)
- 「生誕150年記念・上村松園」展：3月29日(土)～6月1日(日) 大阪中之島美術館 (大阪市北区中之島4-3-1 ☎06-6479-0550)
- 「空想旅行案内人・ジャン＝ミッシェル・フォロン」展：4月5日(土)～6月22日(日) あべのハルカス美術館 (大阪市北区阿倍野区阿倍野筋1-1-43 ☎06-4399-9050)
- 「大原美術館所蔵20世紀美術の巨匠拉致」展：1月18日(土)～4月6日(日) 中之島雪雪美術館 (大阪市北区中之島3-2-4中之島フェスティバルタワーW4F ☎06-6210-3766)
- 「ノー・パウダラーズ」展：2月22日(土)～6月1日(日) 国立国際美術館 (大阪市北区中之島4-2-55 ☎06-6447-4680)
- 「30年後の希望-19950117からのわたしたち」展：12月21日(土)～3月9日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区臨海海岸通1-1-1 ☎078-262-0905)
- 「つなげる美術館ヒストリー」：3月20日(土)～5月18日(日) 西宮市大谷美術館 (兵庫県西宮市中浜町4-38 ☎0798-33-1699)
- 「わけあって絶滅しました。展」：3月8日(土)～5月6日(火) 佐川美術館 (滋賀県守山市水保町北川2891 ☎077-585-7800)
- 「春季特別展 六閑斎三百回忌・認得齋二百回忌」：4月17日(木)～7月13日(日) 茶道資料館 (京都市上京区堀川寺之内上 裏千家センター内 ☎075-431-6474)
- 「若沖と江戸絵画」展：3月1日(土)～5月11日(日) 細見美術館 (京都府左京区京都市岡崎最勝寺町6-3 ☎075-752-5555)
- 「四中光亨日本画展・清浄光明を描く」展：3月8日(土)～6月22日(日) 相国寺承天閣美術館 (京都市上京区今出川通烏丸東入 ☎075-241-0423)
- 「四季を彩る朝鮮の花鳥」展：4月1日(火)～8月24日(日) 高麗美術館 (京都市北区紫竹上ノ岸町15 ☎075-491-1192)
- 「パウル・クレア展」：3月29日(土)～5月25日(日) 兵庫県立美術館 (神戸市中央区臨海海岸通1丁目1-1 ☎078-262-1011)

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1					
		火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	②	水	木					
④ ① ギャラリーヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	谷口淳一 彫刻展 -Story・まほろばへの回帰-						いま、平和のために 非戦を願う 美術家たちの作品展						Kind of blue water 出原 司他						坂爪厚生 銅版画展 -デジタル社会の流れ に對峙して-						馬淵 哲展 (ミクストメディア)											
	2F	富士篤実 展 (絵画) 星々のかけらとまな板のうえの絵具																								Maco (藪田正弘) 作品展											
④ ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	奥座 空間	菊地伸治 展 時空の旅人 (彫刻) (国画会会員・日本美術家連盟会員) (月曜休廊)																																			
④ ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F	まろにえ市						裏貞順 (ファイバー)						裏貞順 (ファイバー)																							
	4F													福島耕平 (写真)						福島耕平 (写真)						ひらいゆう (写真)											
	5F																									京都芸術大学 通信写真展											
④ ① ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710	木村染匠作品展 京の風舞い・キモノと扇子に描く美-																																				
④ ① ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	松永恵子 墨彩画展						笠井季美展 心の彩						吉田はつみ ウェアラブルアート						祇園あきしの 青磁とガラス展						大岩広生 木彫刻展 (彫工鳴流)												
④ ① ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																				
④ ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	常設展 (水・日曜休廊)						休廊						大道正男作品展 (水曜休廊)						休廊						常設展 (水・日曜休廊)												
④ ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	めぐりめぐる絵画 (月曜休廊) 齋藤彩個展 (2023-24新作より)																																				
④ ① ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	新春SALE <和食器、洋食器、作家作品など在庫処分>												常設展																								
④ ① 京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																				
④ 京都芸大ギャラリーアークア 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010	版画専攻 創設55周年記念展 レガシー・プリント アーカイブ																																				
④ 京都市立芸術大学資料館 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟 585-2010	herstories - 女性の視点でたどる美術史 (月曜休館、ただし5/5は閉館、5/7休館)																																				
④ 京都芸術センター 中京区室町錦薬師下ル 213-1000																																					
④ 京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	美術にあらわされた動物たち (水曜休館)																																				
会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1					
会場	日曜	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	②	水	木					
④ 京都写真美術館 東山区神宮道三条上ル 746-2931	1F [月]	清永安雄写真展「台湾ノスタルジア百年美術めぐり」 出版記念																																			
	2F [花]	大西二士男 写真展 「SOAK'IN」						松田有加里 写真展 「Journal français」						ルジバート写真展 「EZO - The Silent Beauty of Japan -」						戸田沙也加 写真展																	
④ 京都陶磁器会館 東山区東大路五条上ル 541-1102	1F	京焼作品常設展																																			
	2F	京の女匠展						吉田瑞希 陶展 - 鬼より強い守り神						陶七人展 シーンをつくる																							
④ ① 京都万華鏡ミュージアムアトスペース 中京区姉小路東洞院東入 254-7902	最新の情報は当館のHPにて ご確認ください。						黄野俊明展						第5回 グループさんさん 作品展						Lives of Flowers																		
④ 宏 寛 堂 中京区姉小路高倉東入ル 090-7480-7733	常設展 (貸画廊受付中)																																				
④ ① 堺 町 画 廊 中京区堺町御池下ル 213-3636	TACOの 日常着						いま、平和のために 非戦を願う 美術家たちの作品展						アフリカ 子どもの本プロジェクト 20周年展																								
④ 大 雅 堂 東大路通福園上ル 541-7388	池坊月刊誌「華道」 山崎鈴子表紙絵 原画展						池坊月刊誌「華道」の表紙を飾った 四人展 (岩田杜平、森田りえ子、田中裕子、山崎鈴子)						休廊																								
④ 玉 山 名 史 刀 東山区三条通神宮道西入 708-8210	常設展 / 美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																				
④ 梅 軒 画 廊 中京区烏丸四条上ル 221-3510							「花のことぶれ」グループ展 大村美鈴・直海かおり 福田季生・松原亜実 山崎鈴子・山本真澄						日本画・洋画常設展																								
④ ビニールテープ(旧後素堂) 中京区新町丸太町下ル 231-0938	企画常設展																																				
④ 星 野 画 廊 東山区神宮道三条上ル 771-3670	「とっておきの日本風景展」(毎月曜と4/6、4/20休廊) - 有名洋画家たちによる - 春夏秋冬 - 美の遺産																																				

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】1年間¥2000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊(☎771-3670)まで振込用紙をご請求ください。  
 【短信】京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当連合会のホームページ(<https://www.kyoto-art.net/>)では、  
 すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内(☎222-0895) <https://www.kyoto-art.net/>